



じょうなん

大阪城南女子短期大学 主催



株式会社サクラレパス + 日本文教出版株式会社 協賛

第55回

全日本幼児画アンデパンダン展

出品園

大募集!

アンデパンダン展は、19世紀末にパリで初めて開催された無審査・無賞・自由出品を原則とする美術展で、今では全世界に広がっています。

大阪城南女子短期大学が主催する「全日本幼児画アンデパンダン展」は、1968年(昭和43年)に第1回を開催し、本年度で第55回目を迎えます。アンデパンダン展の精神を継承し、幼児の自由な発想と表現意欲に導かれて生まれてくる絵画表現の有り様を、そのまま発表する展覧会です。多くの方にとって、「真の幼児の表現とは何か」「幼児の造形活動はどうあるべきか」を考えるよい機会となっています。

令和6年2月5日(月) ~ 無期限

(WEB掲載)

主催：大阪城南女子短期大学

協賛：株式会社サクラレパス、日本文教出版株式会社

協力：城南学園幼稚園、城南学園保育園

会場：大阪城南女子短期大学ホームページ  
(実際の会場はありません)

出品料

無料

参加賞

出品者全員に  
授与されます。

出品申込メ切：

令和5年10月20日(金) 18:00まで WEBで申し込み

\*出品申込とは、ご出品の意思確認です。

\*作品データは下記「データ提出メ切」までをお願いします。

データ提出メ切：

令和5年11月24日(金) 必着 郵送で提出

(あらかじめ空のUSBメモリをお送りします)

\*上記日程以降になる場合は、ご一報ください。

お問い合わせ：〒546-0013 大阪市東住吉区湯里6-4-26

大阪城南女子短期大学 総合保育学科

全日本幼児画アンデパンダン展事務局 担当：柴田

TEL：06-6702-5138

FAX：06-6704-0996

MAIL：sei-shibata@jonan.ac.jp





## 作品規定

1. 出品作品は貴園において製作された乳幼児の作品であること。
2. 平面作品（絵画、版画、レリーフ状の作品など）であること。
3. 作品の主題・材料・大きさに制限はありません。
4. 出品数は1園30点以内。**実際の作品ではなく、作品画像（写真）をご提出いただきます。**

## 出品申込方法

スマートフォンなどで右のQRコードからWEB上の出品申込フォームにアクセスし、**令和5年10月13日(金) 18:00まで**にお申込みください。出品申込フォームでは、園名・貴園の所在地・ご連絡先・ご担当者名・おおよその作品数などをご入力いただきます。



## データ提出方法（出品方法）

- ①出品申込み切後、USBメモリを貴園に郵送します。これに作品写真データを保存してください。撮影方法は下記「作品の撮影方法」を確認ください。
- ②他に、貴園の外観画像データ（または門などの、象徴的な画像）1枚もここに保存してください。加工して展覧会サイトのバナーに使用させていただきます。
- ③また、このUSBメモリにあらかじめExcelデータ「文字情報記入票.xlsx」が保存されています。ここに貴園名・貴園の造形活動の方針・各作品の作品ナンバー（一緒に撮影した作品ナンバーカードの番号）・

作者名（※1）・作品の題名（絵についての子どもの話なども可）・年齢を入力いただき、上書き保存してください。

- ※1 作者名は本名とイニシャルを記入ください。**WEBにはイニシャルのみ公開します。**

例：山田太郎くんの場合 → Y T さん  
井上花子ちゃんの場合 → IH さん

- ④ ①～②のデータを保存したUSBメモリを大阪城南女子短期大学に**令和5年11月24日(金)**までに郵送ください。

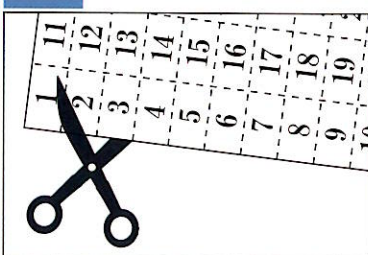
**※ご注意：実際の作品はお預かりいたしません。**

## 作品の撮影方法

### カメラについて

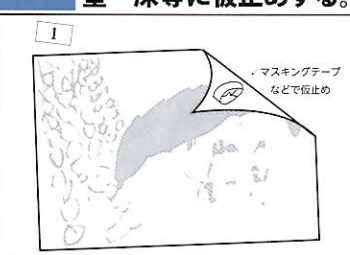
デジタルカメラで撮影をお願いします。スマートフォンのカメラでも問題ありませんが、カメラの性能については600万画素以上をお願いします。デジタル一眼レフやミラーレス一眼レフの撮影でも結構です。

### ① ナンバーカードを切り分ける。



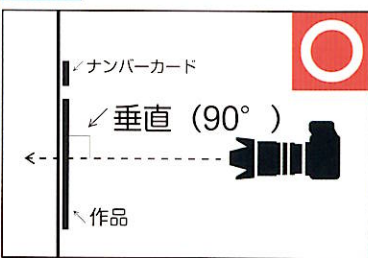
作品ナンバーカードは出品申込み切後お送りします。付箋等に番号を手書きしたもので問題ありません。

### ② ナンバーカードと作品を1枚ずつ壁・床等に仮止めする。

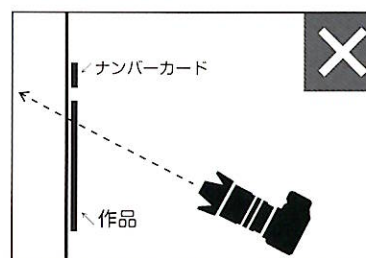


撮影者の影が映り込まないようにしてください。床に置いて撮影する場合は仮止めは不要です。意図しない反りがある場合は仮止めで作品を平たくしてください。

### ③ デジタルカメラで撮影する。



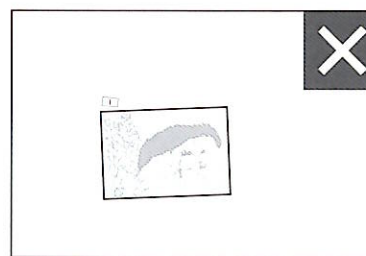
作品に対して正面から垂直に撮影する。



過度に斜めにならない様注意してください。



作品が多少傾いても構いません。余白に別のものが写り込んで構いません。こちらで補正いたします。



余白が多すぎないようにしてください。

## 撮影場所について

作品の本来の色を写すためには、撮影場所は晴れの日の日中の明るい日陰で、人工の光（蛍光灯や白熱灯など）の影響を受けない場所が理想的です。しかし、難しい場合はこの通りでなくても構いません。明るい場所でぶれたり、ピントがぼけたりすることのないように撮影をお願いします。

## その他

- 出品者全員に参加賞を授与いたします。（令和6年1月末ごろを予定）
- 会期が近づきましたら、展覧会のご案内・貴園の出品目録をお送りいたします。